

1. ご本人だけでなくご家族も支えることができたことが実感できました賞	
投稿者	A様
プロフィール	わかば館 ぶるうめ ケアマネジャー 2006年入職
内容	<p>担当のご利用者が亡くなり、ご家族様より納棺の義に一緒にきていただいていたいいですよと言って貰えた。翌日が家族葬であったがそこに参列してもらうより身近に感じてもらえるとお心遣いでした。</p> <p>納棺の義でご遺体を棺桶に家族と移動するお手伝いや、本人様が好きな飲み物を少し含ませてもらうなどさせてもらい、亡くなった故人とのお別れをさせていただいた。貴重な体験をさせてもらった。</p>
評	<p>ご葬儀に参列をさせてもらうだけでなく、家族様のみがされる末期の水のご供養まで一緒にとおっしゃっていただけることが、生前のご本人様とその家族への関わり・援助を、最大に評価していただけたと思える内容であった。直接ケアする職種ではないが、その方を支える人になれたと感じる出来事によっしゃ！</p>
2. 母娘関係の好循環を演出できました賞	
投稿者	B様
プロフィール	わかば館 ホームヘルプサービスふくい ケアワーカー 2004年入職
内容	<p>鬱症状により、サービス利用を渋っておられた利用者(母)、私が送迎するなど少しずつ利用時間をのばし、デイサービスを1日利用してくれるようになった。利用中施設内で働く私の姿を見て「いきいきと働いているな」と言ってくれました。</p>
評	<p>介護をしながら仕事との両立をはかる職員が増えてきたテンダーヒルですが、自分の身内が同じ所でサービス利用をすると気を遣う面も多々あると思いますが、このような良い効果もあり、それを支える他のスタッフと、母と娘が安心して利用できる自施設のサービスであるよう、それが働きやすい職場になればいいと思える内容でした。</p>
3. 気づきを工夫に効率化にチームケアに昇華できました賞	
投稿者	C様
プロフィール	みのり館 ケアワーカー 2019年入職
内容	<p>ご利用者の日々の記録をパソコンに入力する際に毎日の入力で使用する言葉をあらかじめ定型文を作成し「排泄・食事・口腔ケア・ラジオ体操」など入力を簡素化し特記事項の記入時間がとれるだけでなく、利用者様と関わる時間を増やすことが出来ました。</p> <p>また、これをきっかけにフロア全体でPC入力の時間短縮に対する取り組みの1つのアイデアとして使っていただけました。これからも自分1人だけでなく施設全体の役に立てるようなアイデアをいろいろと考えていきたいと思えます。</p>
評	<p>入社1年目、全く介護経験の無い状況での入職であったことから、どのように表現し連携をはかることに活用できる記録を残すかをご自分でも悩まれ、苦労してこられたと思います。</p> <p>そんな中から、規則性をみつけだし、労力を軽減し、なおかつそのことがご利用者と関わる時間を増やすことができるまでに効果を発揮できたことはすばらしいと思います。自分の思いや行動にとどまらず、ユニットで働くスタッフにも良い効果が出るような仕組み作りができたことは、このような運営について考えてくれているスタッフが増加すると、テンダーヒル御所のパワーアップ、経験の無い方にも働きやすい職場につながると思われる内容でした。</p>

4. ともに暮らすことってこんないいことがあるんだね賞	
投稿者	D様
プロフィール	みのり館 ケアワーカー ユニットリーダー 2012年入職
内容	<p>ご利用者のN様が3月に99歳のお誕生日を迎えられるため白寿のお祝いの写真を撮ろうと思い実行しました。</p> <p>その中で背景がさみしいなという声があり他の職員と協力し壁紙を作成し華やかに装飾し写真撮影をし、できあがった写真をみながら「こんな年になってお世話になっているのに祝ってもらって・・・」とお言葉をいただき、職員が作成した壁紙を居室へ飾らせていただくと、出勤してきた他の職員に「これ見てちょうだい！！」と嬉しそうに話されているのを見て「よっしゃ！！」と思いました。</p> <p>また急遽行ったことであったが、嫌な顔をせず普段の業務を行ってくださる職員、アイデアや一緒に作成して下さる職員がいて協力して環境で「よっしゃ！！」と思いました。</p>
評	<p>ご利用者のライフステージを見逃さず、その節目をお祝いできたことによっしゃ！！と思える。またユニット内チーム全てがその為に協力できたことは、やってみたい思いを出せる雰囲気、それを一緒に協力してご利用者の楽しみを作ろうとするチーム作りができていたことがすばらしい。</p> <p>ご利用者が生活の中で、自分から誰かと共有したい出来事があることは、生き甲斐につながる。ご利用者、スタッフ、ユニット、施設全てによって良い循環がみられる内容でした。</p>
5. チームケアは「伝わってなんぼ」を再発見できました賞	
投稿者	E様
プロフィール	みのり館 ケアワーカー 介護主任 2006年入職
内容	<p>U様は以前より拘縮ではないが腋の締め付けがきつく感じており、腋下に赤みや水泡になりかけている箇所があり、どうにかできないものかと考えていた。そこで一緒にいた職員と巻きバスタオル(2枚をロール状にし、紐で結んだもの)を両脇に隙間をあげ挟むようにした。</p> <p>他の職員がどういう風に挟むのかわからなかったり、統一できないと思い写真を撮って要点を記入した物を掲示した。以降、臥床時に体動によりずれていることもあるが蒸れている様子もなく、赤みや水泡も見られなくなった。また、他の職員も同じように挟んでくれることに嬉しく思った。</p> <p>後日、U様のご家族様がその対応を見てくださり、大変喜んでおられたとのお話を聞き「よっしゃ！！」と感ずることが出来た。</p>
評	<p>ご利用者への援助方法を考えるだけでなく、その意図や方法をわかりやすく仕組み作りをすること、周知できるように考えたこと、それによりケアを統一して提供できたことで、ご利用者の生活の質が向上したことがすばらしい。チーム内にどのように伝達することで統一して継続できるのかまで考えたことは主任としての役割をはたしており、チーム作りを担う事が多い主任の良い手本になると思う。</p> <p>家族様にもその思いや取り組みが伝わっていることが確認でき、テンダーで過ごしていただけることで安心していただける環境を提供できていることをチーム内で共有しながら、さらなるチーム作り＝施設作りに取り組みたいと思える内容であった。</p>
6. 利用者本位ってこういうことなんだね賞	
投稿者	F様
プロフィール	本館 特養 ケアワーカー 2015年入職
内容	<p>何事にも自身のこだわりを持っておられるS様。</p> <p>トイレ介助時に立位が不安定になられたり前傾姿勢になられることが多々あり、介助する側もされる側もより安全に介助が出来ないかと考えていた。</p> <p>初めは拒否されることが多かったが毎回声掛けを行っているうちに徐々に納得して介助させてもらえるように・・・もっとよりよい介助方法はないかと模索していたある日、はっ！としたことでスムーズな介助方法を発見。</p> <p>なぜこんな事に気づかなかったのかと思わず笑うと、S様も笑い「うんうん」とおおきく頷かれ握手をしてくれた。</p> <p>この介助によりスムーズにトイレへの誘導ができるようになった。</p> <p>最近では、S様のご自身でトイレ介助時に車椅子をセッティングして下さっています。</p>
評	<p>こだわりを持っておられるご利用者＝自らのスタイルで自立生活を送りたいとの思いが強く、そのポリシーをもって頑張っている方。コミュニケーションが取りづらいなか、根気強く関わりをし、介助をうけてもらう利用者にも、介助する職員も安全にできる方法を模索していることが伝わった良い事例だと感じた。無理強いせず、頑固な人と関わりをあきらめることなく継続してきたことで、お互いに納得できる方法にたどりつけたことは、介護方法、介護技術などの専門的な部分だけでなく、人と人同士のかかわりであると感じ、いうことも聞かなくらいに気難しい方が、笑って「うんうん」と大きくうなずいて握手を求めてくださった行為は、最大にお褒めをいただいた事として、大きなガッツポーズをしたい内容でした。</p>